

農業体験研修プログラム

農業体験研修(一日目)

時間	内容	目的
1日目 午前		
8:30	西阪農園現地集合	
8:40	1.オリエンテーション	<p>～作業の前に本研修の狙いと目的をきちんと落とし込み研修効果を高める～</p> <p>【自己紹介】 ※克服したい課題と課題解決に向けた目標設定を発表</p> <p>【社会人としての自主性】</p> <p>【コミュニケーションの重要性と役割】</p> <p>【失敗を糧にする姿勢と考え方】</p>
9:30	畑へ移動	<p>◇ 収穫～袋詰め…</p> <p>「畑に育っている野菜が商品になるまでの過程を実体験し、目標数字の達成を目指す」</p>
9:35	作業説明	<p>■野菜(※1)の収穫6kg程度…目標タイム 60分</p> <p>※1季節により品目が異なります</p> <p>■野菜(※1)の袋詰め70袋…目標タイム 60分</p>
9:40	2.収穫	<p>※1季節により品目が異なります</p> <p>例:菊菜、ホウレン草、小松菜、水菜等</p>
10:40	出荷場へ移動	
10:45	小休憩(15分)	<p>この工程では 5,000円以上/1チームの利益を目指す。</p> <p>・売上目標…7,000円以上/1チーム</p> <p>(5人を1チームとし、5人以下の場合は当農園スタッフとの混成チーム)</p>
11:00	3.袋詰め作業	<p>・想定経費…2,000円(1,000円×2h(人件費※))※5名で一人分の人件費とする</p>
12:00	昼食休憩(60分)	<p>当農園スタッフと一緒に昼食をとり</p> <p>午後の作業に向けたコミュニケーションの場とする</p>
1日目 午後		
13:00	1.植え付け準備	<p>◇ 圃場整備…</p> <p>「畝立て、整地、播種、一連の工程を自ら体験し、お金の発生する流れ、過程を可視化する」</p>
15:30	小休憩(15分)	<p>■畝立て…トラクターを使用した後、排水の為に溝を切る。</p>
15:45	2.種まき	<p>■整地…レーキを使用し畝を平らに整地していく</p> <p>種まき機を使用して播種作業(※2)</p> <p>※2 季節により苗の定植、直播等になります。</p>
16:45	本日の感想	各自が今日感じた事や苦労した事などを2～3分で発表
17:00	現地解散	

農業体験研修プログラム

農業体験研修(二日目)

時間	内容	目的
2日目 午前		
8:30	西阪農園現地集合	
8:35	1.一日目の振り返り～ 二日目の行動目標を設定	一日目の結果を踏まえ、目標数字を達成する為に必要なポイントを確認、具体的な改善策を話し合い、行動目標を各自設定。 ※前日の作業を踏まえ適性に依じたチーム分けと役割分担を行う事で作業効率の変化を体得する。
9:00	2.収穫～袋詰め作業 ・収穫チーム ・袋詰めチーム チームに分かれて作業	全ての作業が密接に連動していることで自分の役割を意識させる。各チーム協力のもと全体の流れを意識して取り組む。 ※目標設定は一日目と同様
12:00	昼食休憩(60分)	一日目と同様、当農園スタッフと一緒に昼食
2日目 午後		
13:30	1.農業体験の振り返りと 仕事へのフィードバック	【成果発表(一日目、二日目共に)】 二日間での成果を客観的にまとめ、数字から導き出された結果を解析する 【2日間のまとめと総括】 二日間得た経験を基に問題提起を促しながら自身の仕事にどう活かせるかディスカッション。
15:15	小休憩	
15:30	2.廃棄野菜の有効活用 規格外の野菜を収穫→袋詰め	～捨てるから生かす、へ。生じるロスを様々に還元する～ ・見た目で販売に向かない野菜をお土産にし、もったいないという感覚を芽生えさせる。 ・無人直売所への出荷準備と商品陳列を行い自分の収穫した野菜がお金になる現場を体感する
16:30	3.研修を終えて所感発表	～二日間を終えて研修の感想と会社での今後の目標～ 研修で得たもの、活かしていきたい考え方など研修で学んだことを一人 5～10分程度で発表
16:45	研修修了証授与 研修終了	※修了証と自ら収穫したお土産の野菜を贈呈
17:00	現地解散	